

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/10)

学部・学科	臨床心理学部・教育福祉心理学科	職名	教授	氏名	シバタ 柴田 チヨウセイ 長生
学歴	昭和49年 3月 京都教育大学特殊教育科心理学専攻 卒業				
学位	昭和49年 3月 教育学士(京都教育大学)				
専門分野	児童福祉、発達心理学、臨床心理学				
専門資格	中学校教諭1級免許状(理科)(昭四八中一普め第3542号) 高等学校教諭2級免許状(理科)(昭四八高二普め第3869号) 養護学校教諭1級免許状(昭四八養学一普め第118号)				
所属学会	昭和61年11月 全国児童相談研究会 平成24年 7月 日本心理臨床学会 平成24年 7月 日本発達心理学会 平成24年 7月 日本保育学会 平成25年11月 日本子ども家庭福祉学会				
受賞	平成10年10月 厚生(現・厚生労働)大臣表彰(社会福祉従事職員)				
担当授業科目	発達臨床学・教育福祉心理学概論・児童家庭福祉・社会的養護・臨床心理学演習(社会的養護内容)・臨床心理学実践演習(相談援助1)・臨床心理学実践演習(相談援助2)・保育実習指導・保育実習・心理学査定・心理学査定・教育福祉心理学実践演習(学校インターンシップ2)・教育福祉心理学演習・教育福祉心理学演習・臨床心理学研究法演習・臨床心理学研究法演習				
論文指導	論文指導担当[主査](卒論: 0名) 論文審査担当[副査](卒論: 7名)				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名 臨床心理学演習 (社会的養護内容)	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 33名	
	<p>授業の概要: 児童養護施設を中心に展開される「社会的養護」への取り組みの原理・原則とその実際について、演習形式で徹底的に学び、3回生以降の実習参加に資する。全国児童養護施設協議会が作成した小冊子「この子を受けとめて、育むために」を徹底精読させ、毎回小グループでKJ法による重要なポイント・疑問点などを抽出させた上で、パズセッションを行わせ、その結果を報告させた。</p> <p>教育活動の振り返り 教育活動の成果: 児童福祉現場実践におけるエッセンスを徹底的に学び取らせるために、33名という受講人数が大きなネックとなった。そのことをクリアするために、上記の授業形態を導入し、個々の学生が徐々に積極参加でき、学習成果が上がった。 現場実践におけるエッセンスの習得ということについて、個々の学生が自発的に考え、その上で学び取れたことが教育成果として大きかった。小グループ毎の学習の深めについては、グループワーク中の机間巡視で個別対応することが出来た。この学習方法を反復実施することで、自主的に学ぶ事への態度も涵養できたと考える。この取り組みを通して、3回生で実施する施設実習の「実習目標作成」への見通しが立った。</p> <p>今後の課題: 受講生の数がやや多い場合の、このような学習展開における学習達成のための、更なる授業形態の研究が必要。多くの学生は学習目標に到達してくれるが、参加意欲の低い学生や、期待される内容が抽出できない小グループへのファシリテート等は、必ずしも十分だとはいえなかった。</p>				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/10)

	科目名 臨床心理学研究法演習	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 9名
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	<p>授業の概要：3回生ゼミにおける卒論制作準備のために、研究及び研究結果執筆のための枠組みと具体的な方法論の学習を、サイコロを用いた確率計算シミュレーションと、模擬リサーチを実施させた上で、仮説検証の方法・研究結果の集約方法・考察記述などに取り組み、卒論制作のシミュレーション体験をさせた。統計処理として、度数分布表、ヒストグラムの作成、t検定・カイ二乗検定の実施と、その解釈（有意差）という点に限定して学習させた。</p>			
	<p>教育活動の振り返り</p> <p>2 教育活動の成果： 学生にとって未知の領域である「研究」ということについて、具体的にイメージできるようになったと思われる。卒論に実際に取り組む際に、研究テーマの設定と研究方法のデザイン作成に関して、寄与できたのではなかろうか。</p> <p>今後の課題： この授業形態は、3回生ゼミにおける「卒論準備」のための実験教育段階にあり、この成果を次年度のゼミ展開の中で更に深めたい。研究法や心理統計などは、他のカリキュラムと連動した「一貫したもの」でなければならず、学科カリキュラム全体の中での位置づけについても検討を要する。</p>			
	<p>学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月、学内 2014年度 第2回FD講演会「授業と評価をつなぐ為に ~ ルーブリック評価入門 ~」に参加。 			
<p>教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士養成課程3回生への施設実習前後期を中心とした実習・就職先・ボランティアなどに関する個別相談（随時） PSW3回生実習生2名の実習指導個別担当（打ち合わせ・施設訪問等） 卒論・修論等にかかる相談・調査依頼相談など（随時） 児童相談研究セミナーへの参加。現場スタッフとの交流、情報交換など。現在の児童福祉現場の動向を詳しく知ることが出来た（平成26年11月 東京都） 厚生労働省が行っている「学生によるオレンジリボン運動」に、社会的養護内容演習受講生を中心に参加。虐待防止への発信メッセージの検討と、虐待防止啓発短編動画の作成企画を、京都府健康福祉部家庭支援課とのコラボで取り組んだ。 京都保育士養成研究会への出席。保育士養成、施設実習等に関する情報交換。 こらぶれーしょんプロジェクトへの継続取り組み。宇治福祉園スタッフと共同で行っている、子ども・子育て支援などのあり方や、地域への発信などを考える継続的な取り組み。 実習受け入れ先の開拓、依頼施設（依頼したい施設）との継続的なコンタクト。 				
H26 年度 研究課題	<ol style="list-style-type: none"> 知的障害児の障害類型と障害特性に関する研究 ~ 主に社会生活能力の観点から ~ 対人援助職としての保育士に関する研究 児童福祉施設におけるケースマネジメントに関する研究 			
平成 二 十 六 (2014) 年 度 の 研 究 活 動 の 概 要	<p>1については、京都府児童相談所と提携して行った、平成24年5月～10月の「京都府児童相談所・療育手帳判定結果」の全件調査結果における「社会生活能力（適応能力）」の評価結果が、ケース毎に知的能力水準からかなりのばらつきを示すことに着目し、クラスター分析結果を実施した。分析結果から、障害像のタイプに関する検討等を行ったが、論文作成については次年度へ持ち越した（平成25年度からの継続研究）。</p> <p>2については、平成23年からの継続研究テーマであり、本年度は、知的障害児入所施設と、知的障害児母子通園施設の保育所3名に対して聞き取り調査を実施した。論文作成については次年度へ持ち越した。</p>			

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/10)

<p>平成二十六年(2014)年度の 研究活動の概要 ことば</p>	<p>3については、前年度に開発・提供した、カード型データベースソフトThe Card 8による児童養護施設入所児童ケース管理システム(入所児童台帳・年次報告書・自立支援計画票・各種月例評価・毎日の児童記録作成・外泊面会管理など)を、児童養護施設青葉学園の実務において引用を開始し、実務で活用できるように操作マニュアルを改訂し、操作・活用方法についての研修を実施した。実務の流れの中で、使用・活用方法をその都度指導し、システムについても一部改良を行った。現在実務の中で継続稼働している。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 「児童福祉施設とは、どのようなところなのか 施設現場の現状」「毎日SNSでつぶやいているあなたへ 実習生としての心得とマナー」共著(当該部分担当)、平成27年2月、保育出版社、浦田雅夫編著、『考え、実践する施設実習』(pp.16-19 pp.28-31)</p> <p>(論文) (学会報告、学会活動) 1. 「対人援助職としての保育士の専門特性 ～様々な児童福祉機関で活躍する保育士へのインタビュー内容を通して～」単独、平成26年9月、平成26年度全国保育士養成セミナー・第53回研究大会、福岡県・ホテルニューオータニ博多</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演： 1. 「児相実務の中での、新版K式発達検査を用いた相談」単独、平成26年4月、京都文教大学大学院アセスメント研究会(高石浩一教授担当) 京都文教大学 2. 「子どもの虐待について」単独・平成26年9月、京都文教大学心理臨床センター・スタッフ研修、京都文教大学</p> <p>(調査活動) 平成26年 6月 「対人援助職としても保育士業務」聞き取り調査(於：奈良県立登美学園) 平成26年 7月 「対人援助職としても保育士業務」聞き取り調査(於：京都府社会福祉事業団こども発達支援センター)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動) 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員、学生委員会委員、人権委員会委員、学生相談室運営委員会委員、人間学研究所共同研究プロジェクト「地域人材育成のための教育プログラム構築と制度整備支援に向けた学際的研究」兼任研究員、保育士実習ワーキンググループメンバー</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の 社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託) ・ 京都府家庭支援総合センター家庭問題等困難事案対応サポート事業アドバイザー「平23.4より」 ・ 京都府要保護児童困難事案対応市町村サポート事業アドバイザー「平24.4より」 ・ 京丹後市教育委員会いじめ防止対策等専門委員会委員「平26.9より」 ・ 宇治田原町いじめ再調査委員会委員「平26.11より」</p> <p>平成26年 7月 平成26年度夏期教員免許状更新講習講師「家族システムから子どもの課題と家族支援を考える」於：京都文教大学 平成26年11月 平成26年度秋期教員免許状更新講習講師(共同：柴田長生・堀内詩子)「子どものこころ」を育む関わり」於：京都文教大学</p> <p>(NPO 法人等の団体への参画) ・ NPO法人子どもセンターののさん(子どもシェルター)理事「平23.10より」 ・ 社会福祉法人児童養護施設青葉学園理事(職員へのスーパーバイズを継続的に担当)「平24.4より」特に主任職員へのケースマネジメントと若手職員への現任研修について、毎月継続的に対応。 ・ NPO法人チャイルドライン京都理事「平26.4より」</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/10)

平成二十六(2014)年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成26年 5月 NPO法人ののさんケースカンファレンス、於：コミュニティ嵯峨野
- 平成26年 7月 1. 宇治市教育委員会・中学校教師のための虐待防止研修会「ネットワークで防ぐ、子どもの虐待 ~ 府教委作成の対応マニュアルに基づいて ~」、於：宇治市生涯学習センター
 2. 宇治市教育委員会事例研究会「家族システムから不登校を考える ~ よりよい事例研究を行えるために ~」、於：宇治市青少年センター
 3. 乙訓障害者福祉従事職員研修「発達障害について・自閉症を中心に ~ 理論背景・アセスメント・支援の基礎 ~」、於：京都府乙訓保健所
 4. 宇治市教育委員会・中学校教師のための虐待防止研修会「家族を了解する, 家族でアセスメントする ~ 虐待防止と対応のために・他機関と情報や考え方がシェアできるために ~」、於：宇治市生涯学習センター
- 平成26年 8月 1. 大阪市子ども相談センター職員研修会「インテーク面接について」、於：大阪市子ども相談センター
 2. 宇治福祉園カウンセリングセミナー講師「家族システムから子どもの課題を考える」、於：宇治福祉園
 3. 宇治市教育委員会・中学校教師のための虐待防止研修会「「気づき」のための、チェックリストから「支援」できるための、リスクアセスメントへ」、於：宇治市生涯学習センター
 4. 宇治市中学校教諭研修会「家族システムから子どもの課題と家族支援を考える」、於：宇治市生涯学習センター
- 平成26年 9月 1. 京丹後市PTA講演会「子ども達をほめて育てる ~ ほめるということの背景 ~」、於：京丹後市福祉センター
 2. 京都府家庭支援課女性相談担当養成講座「DVと子どもの虐待 ~ 児童虐待対応制度を学び、家族全体への支援の視点を考える ~」、於：中丹勤労者福祉センター
 3. 京都府家庭支援総合センター(北部研修)「女性相談における相談・面接の基礎」、対象：同センター及び市町村女性相談担当職員、於：中丹西保健所
- 平成26年10月 京都府家庭支援総合センター(南部研修)「女性相談における相談・面接の基礎」、対象：同センター及び市町村女性相談担当職員、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成26年11月 1. 精華町保育士研修「様々な親子を受け止め支援することができるために ~ 家族理解と、愛着形成の視点から ~」、於：精華町役場
 2. 京都府母子生活支援施設・関係職員研修会「ひとり親家庭やステップファミリーを理解し、支援できるために ~ 家族システム論の視点から ~」、於：京都府職員福利厚生センター
 3. 大阪市子ども相談センター職員研修会「インテーク面接について」、於：大阪市子ども相談センター
 4. 京丹後市いじめ防止啓発研修会「「いじめ」を正しく理解し、対応できるために ~ 学校・家庭・地域の連携から ~」、於：京丹後市大宮庁舎
- 平成26年12月 宇治市教育委員会虐待防止研修会「死亡事例から学ぶ子どもの虐待防止 ~ ケースをシステムとして捉え、時系列的に眺め、アセスメントすることから、活きた連携をめざす ~」、於：宇治市生涯学習センター
- 平成27年 1月 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所中堅職員研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター
- 平成27年 2月 京都市西京区洛西支所子育て支援協議会、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：西京区役所洛西支所
- 平成27年 3月 1. NPO法人ののさんボランティア養成研修「思春期女兒の心理とケア」、於：京都テルサ
 2. 京都府、児童虐待防止における医療・保健・教育連携強化研修(南丹地域)、パネルディスカッション・コーディネータ、於：公立南丹病院

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/10)

平成二十六年(2014)年度の 社会活動	(その他) 平成26年 4月 京都学園大学大学院人間文化研究科非常勤講師(集中講義「発達心理学特論B」)担当(集中講義)「平26.5まで」 平成26年 6月 京都文教短期大学保育士資格取得特例講座講師(「福祉と養護」京都文教短期大学安藤和彦教授との共同担当)「平26.7まで」
平成二十一年(2009)～ 二十五年(2013)年度の 主な研究成果等	(著書) 1. 「 -11 児童相談所」(加筆修正執筆担当)、共著、平成24年6月、ミネルヴァ書房、麻生武・浜田寿美男編、「よくわかる臨床発達心理学(第4版)」(pp.196-197) (論文) 1. 「京都府児童相談所における児童福祉司スーパーバイス」、単著、平成21年8月、子どもの虹情報研修センター平成20年度研究報告書(pp.56-74) 2. 「対人援助職としての保育士の可能性(試論的検討) 児童相談所・婦人相談所の一時保護所保育士業務から見えるもの」、単著、平成23年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究創刊号(pp.73-85) 3. 「子どもの社会生活能力評価に関する検討 「社会生活能力目安表」の信頼性・妥当性に関する追加検討」、単著、平成25年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第5集(pp.3-23) 4. 「対人援助職としての保育士の可能性2 乳児院・児童養護施設での保育士業務から見えるもの」、単著、平成25年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究第3集(pp.3-24) 5. 「知的障害児における社会生活能力の評価について1 社会生活能力目安表による評価の意義と妥当性について」、単著、平成26年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第6集(pp.13-37) 6. 「対人援助職としての保育士の可能性3 保育所での保育士業務から見えるもの」(研究ノート)、単著、平成26年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究第4集(pp.97-117) (学会報告、学会活動) 1. 第37回全国児童相談研究セミナー京都大会分科会「児童相談所内での協働について考える」(シンポジスト)、共同、平成23年11月、全国児童相談研究会、京都教育文化センター 2. 「保育士が有する対人援助職としてのコンテンツの検討 ～専門相談機関に勤務する保育士への聞き取り内容から～」、単独、平成24年9月、全国保育士養成協議会研究大会2012、京都文教短期大学 3. 全国保育士養成協議会研究大会2012(大会運営スタッフ)、平成24年9月、京都文教短期大学 (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 書評： 1. 「伊原千晶編著『心理臨床の法と倫理』」、単著、平成25年2月、京都学園大学総合研究所所報第14号(pp.63-68) 学術講演： 1. 「『家族システム』へ関わる」、単独、平成22年7月、国立保健医療科学院 支援技術論、国立保健医療科学院 2. 「児相実務の中での、新版K式発達検査を用いた相談」、単独、平成24年4月、京都文教大学大学院アセスメント研究会(高石浩一教授担当) 京都文教大学 3. 新版K式発達検査実施結果に対するスーパーバイス(2回)、単独、平成25年2月、京都文教大学大学院アセスメント研究会(高石浩一教授担当) 京都文教大学 4. 「児相実務の中での、新版K式発達検査を用いた相談」、単独、平成25年4月、京都文教大学大学院アセスメント研究会(高石浩一教授担当) 京都文教大学 5. 新版K式発達検査実施結果に対するスーパーバイス(2回)、単独、平成26年2月、京都文教大学大学院アセスメント研究会(高石浩一教授担当) 京都文教大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/10)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)</p> <p>報告：</p> <p>1. 「第1回こらぶれーしょんセミナー報告 子どもたちを豊かに育むまちの資源を集める」, 単著、平成26年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究第4集 (p.147)</p> <p>エッセイ：</p> <p>1. 「きんこん一番3つの話」, 単著、平成22年10月、明石書店、そだちと臨床Vol.9 (pp.69-73)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成22年11月 入所児童の家庭復帰の可能性に関する評価調査 (於：京都府内児童福祉施設)</p> <p>平成24年 5月-10月 京都府児童相談所で実施された「療育手帳判定」全件について、発達指数・社会生活能力評価結果・要配慮事項などについて調査。</p> <p>平成24年11月-12月 児童における療育手帳判定結果・判定内容に関する調査結果の検討。知的障害児の能力評価に関する方法、評価に関する信頼性・妥当性の検討。</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>平成24年 4月 新学科 (教育福祉心理学科) 開設準備室委員「平25.3まで」 FD委員会委員「平25.3まで」 人間学研究所共同研究プロジェクト「地域人材育成のための教育プログラム構築と制度整備支援に向けた学際的研究」兼任研究員「現在に至る (平27.5まで)」</p> <p>平成25年 4月 人権委員会委員「現在に至る」 入試委員会委員「平26.3まで」 保育士実習ワーキンググループメンバー「現在に至る」</p> <p>平成24年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学科開設ワーキングに通年参加 ・ 12月、教育福祉心理学科開設記念特別講演会「子ども最前線！ 教育福祉心理学科の挑戦」の企画・運営に参加
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)</p> <p>平成19年 4月 京都府京都児童相談所所長「平22.3まで」</p> <p>平成22年 4月 京都府家庭支援総合センター副所長 (相談・判定課長事務取扱)「平23.3まで」</p> <p>平成23年 4月 1. 京都府家庭支援総合センター非常勤嘱託 (家庭復帰支援員)「平24.3まで」 2. 京都府家庭支援総合センター家庭問題等困難事案対応サポート事業アドバイザー 「現在に至る」</p> <p>平成23年11月 京都府家庭支援総合センター知的障害相談管理システム・心理判定業務統計集約システム・虐待相談管理システム・施設入所児家庭復帰ケースマネジメントシステムの開発及び提供 (MS Access を活用し、相談・統計情報の蓄積、ケースマネジメント、及び計算処理のためのデータベースシステムを設計・構築して現場へ提供した。)</p> <p>平成24年 4月 京都府要保護児童困難事案対応市町村サポート事業アドバイザー「現在に至る」 宇治市・城陽市・八幡市・木津川市などの、児童虐待等の困難事案へのスーパー バイズ (7事案対応)</p> <p>平成25年11月 平成25年度秋期教員免許状更新講習講師 (共同：柴田長生・堀内詩子)「子どものこころを育む関わり」, 於：京都文教大学</p>
	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成23年10月 NPO法人子どもセンターののさん (子どもシェルター) 理事「現在に至る」</p> <p>平成23年12月 NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムを作る会 (福島県相馬市) への相談管理システムの開発及び提供 (MS Access を活用し、相談・統計情報の蓄積、ケースマネジメント、及び統計計算処理のためのデータベースシステムを設計・構築して現場へ提供した。)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/10)

(NPO法人等の団体への参画 つづき)

平成24年 4月 社会福祉法人児童養護施設青葉学園理事(職員へのスーパーバイズを継続的に担当)
「現在に至る」

特に主任職員へのケースマネジメントと若手職員への現任研修について、毎月継続的に対応。

平成25年 9月 社会福祉法人児童養護施設田島童園(大阪市生野区)および社会福祉法人児童養護施設青葉学園(京都府亀岡市)への、入所児童ケース管理システム(入所児童台帳・年次報告書・自立支援計画票・各種月例評価・毎日の児童記録作成・外泊面会管理など)の開発及び提供、操作マニュアルの作成「現在に至る」

(小中高との連携授業の講師)

平成25年 1月 京都文教高等学校ALP「家族の機能と心理臨床」、於：同校

(自治体や企業における研修等の講師)

平成21年 9月 京都府市町村職員研修会「家族理解・家族支援のための実践的方法論」、

於：京都府京都児童相談所

平成21年11月 1. 平成21年度人権教育指導者研修会「連携で防ぐ子どもの虐待」、於：京都府教育庁

2. 京都キワニスクラブ例会「児童虐待防止について」、於：ホテルオークラ

平成21年12月 1. 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター

2. 京都府児童福祉施設基幹職員研修会講師、「子どもの心身の発達(発達段階)虐待等の発達への影響、PTSD(心的外傷後ストレス障害)発達障害等」、於：京都府京都児童相談所

平成22年 2月 1. 京都府職員研修センター人権研修「子どもの人権～児童虐待を中心に～」、於：京都府職員研修センター

2. 京都府児童福祉施設基幹職員研修会「ケースカンファレンスの進行のポイント、実際の事例を通じた演習等」、於：京都府職員福利厚生センター

3. 京都府児童福祉施設基幹職員研修会「スーパーバイザーに必要な資質、スーパーバイズの演習(ロールプレイ)等」、於：京都府職員福利厚生センター

平成22年 8月 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター

平成22年11月 近畿地区乳児院協議会研修会分科会 助言者、於：新・都ホテル

平成23年 1月 1. 子どもの虹情報研修センター児童相談所中堅児童福祉司・児童心理司合同研修「福祉司と心理司の協働について」、於：子どもの虹情報研修センター

2. 全国市町村職員研修会「子どもの虐待への対応事例について」、於：財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所

平成23年 2月 京都府立病院職員研修「子どもの虐待について」、於：京都府立病院

平成23年 7月 花ノ木医療福祉センター職員研修「子どもの虐待を防ごう」、於：花ノ木医療福祉センター

平成23年 8月 京都府家庭支援総合センターDV相談員研修「事例を用いたグループワーク」、於：京都府家庭支援総合センター

平成23年 9月 1. 女性相談員近畿ブロック研修会「事例検討助言者」、於：新・都ホテル

2. 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所中堅児童心理司研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター

平成23年10月 京都国際社会福祉センター「新版K式発達検査2001 中級講座事例検討」、於：京都国際社会福祉センター

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/10)

平成二十一
〜二十五
(2009〜2013)
年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成23年11月 1. 平成23年度長岡京市児童虐待防止キャンペーン市民大会第1分科会、ミニ講演「子どもの虐待防止をめぐる」虐待防止シンポジウム・コーディネータ、於：長岡京市産業文化会館
2. 京都府家庭支援総合センター施設と児相との交流会、シンポジウムコーディネータ、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成23年12月 京都府家庭支援総合センター女性相談員養成研修、「DVと児童虐待」事例演習(ロールプレイ)、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成24年 1月 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所中堅職員研修、「児童虐待ケースへの対応と支援」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター
- 平成24年 2月 NPO法人子どもセンターののさんボランティア養成研究会「思春期後期女兒の心理とケア」、於：キャンパスプラザ京都
- 平成24年 3月 1. NPO法人いずみの家関係者研修「個別支援に関する検討会」 助言者、於：NPO法人いずみの家
2. 京都府家庭支援総合センター市町村女性相談担当者研修会「DVと子どもの虐待」、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成24年 5月 1. 京都国際社会福祉センター治療教育講座「子どものそだちとからだについて」(2回)、於：京都国際社会福祉センター
2. 京都府家庭支援総合センター・宇治児童相談所「社会生活能力目安表の評価方法」(2回)、於：京都府家庭支援総合センター・京都府宇治児童相談所
- 平成24年 7月 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：木津川市児童福祉・教育関係者、於：木津川市役所
- 平成24年 9月 1. 「関係機関の連携で虐待を防ぐ～要保護児童対策地域協議会の底力をつけよう～」、対象：滋賀県高島市虐待対応関係者、於：高島市津津老人福祉センター
2. 京都府家庭支援課女性相談担当養成講座「DVと子どもの虐待～児童虐待対応制度を学び、家族全体への支援の視点を考える～」、於：京都府家庭支援総合センター
3. 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター
- 平成24年11月 京都府家庭支援総合センター「療育手帳判定基準の検討」、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成25年 1月 1. 京都府家庭支援総合センター「療育手帳判定結果の分析と検討」、於：京都府家庭支援総合センター
2. 子どもの虹情報研修センター全国児童相談所中堅職員研修、「児童虐待ケースへの対応と支援」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター
3. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：宇治市児童福祉・教育関係者、於：宇治市健やかセンター
- 平成25年 2月 1. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：宇治市児童福祉・教育関係者、於：宇治市立宇治中学校
2. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：城陽市児童福祉関係者、於：城陽市役所
3. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：八幡市児童福祉関係者、於：八幡市役所
- 平成25年 3月 1. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：精華町児童福祉・教育関係者、於：精華町役場
2. 京都府家庭支援総合センター「女性相談における相談・面接の基礎」(2回)、対象：同センター及び市町村女性相談担当職員、於：京丹後市、綾部市
3. 子どもセンターののさんボランティア養成研修、「思春期女兒の心理とケア」「グループワーク」、於：キャンパスプラザ京都
4. 城陽市養護保護児童対策地域協議会全体研修、「ネットワークで防ぐ子どもの虐待」、於：城陽市役所
- 平成25年 6月 1. NPO法人ののさん総会記念講演「親子を支える保育士たち」、於：メルパルク京都

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (9/10)

平成二十一年(二十五) (2009~2013) 年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成25年 6月 2. 京都府家庭児童相談員研修「様々な精神疾患や、トラウマ体験を持つ親への支援のあり方」、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成25年 7月 宇治市教育委員会・教師のための虐待防止研修会「ネットワークで防ぐ、子どもの虐待 ~府教委作成の対応マニュアルに基づいて~」於：宇治市生涯学習センター
- 平成25年 8月 1. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：城陽市児童福祉・教育関係者、京都府宇治児童相談所 於：城陽市立西城陽中学校
2. 宇治福祉園カウンセリングセミナー講師「家族システムから子どもの課題を考える」、於：ゆめりあうじ
3. 大阪市子ども相談センター職員研修会「インテーク面接について」、於：大阪市子ども相談センター
- 平成25年 9月 1. 宇治市教育委員会・中学校教師のための虐待防止研修会「「気づき」のための、チェックリストから「支援」できるための、リスクアセスメントへ」於：宇治市青少年センター
2. 児童養護施設田島童園（大阪市生野区）職員スーパーバイズ、於：田島童園
3. 京都府家庭支援課女性相談担当養成講座「DVと子どもの虐待 ~児童虐待対応制度を学び、家族全体への支援の視点を考える~」、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成25年10月 1. 児童養護施設田島童園（大阪市生野区）職員スーパーバイズ、於：田島童園
2. 市町村児童虐待防止研修会「関係機関の連携で虐待を防ぐ ~要保護児童対策地域協議会の底力をつけよう~」、対象：滋賀県高島市虐待対応関係者、於：高島市公民館
- 平成25年11月 1. 宇治市教育委員会・中学校教師のための虐待防止研修会「家族を了解する、家族でアセスメントする ~虐待防止と対応のために、他機関と情報や考え方がシェアできるために~」於：宇治市青少年センター
2. 児童養護施設田島童園（大阪市生野区）職員スーパーバイズ、於：田島童園
3. 子どもの虹情報研修センター全国治療機関・施設専門研修、「虐待事例の検討」スーパーバイズ、於：子どもの虹情報研修センター
4. 平成25年度京都・滋賀県社会福祉士会コラボ研修、子ども家庭福祉・SSW研修会「関係機関とのよりよい連携をめざして」、於：花園大学
5. 宇治市教育委員会・幼稚園小学校教師のための虐待防止研修会「死亡事例から学ぶ子どもの虐待防止 ~対応マニュアルの活用と、活きた連携活動のポイント~」於：宇治市生涯学習センター
- 平成25年12月 1. 児童養護施設田島童園（大阪市生野区）職員スーパーバイズ、於：田島童園
2. 社会福祉法人同胞の家職員研修「自閉症について考える ~理論背景・アセスメント・支援の基礎~」、於：同胞の家
- 平成26年 1月 京都府家庭支援総合センター（南部研修）「女性相談における相談・面接の基礎」、対象：同センター及び市町村女性相談担当職員、於：ゆめりあうじ
- 平成26年 2月 1. 京都府社会福祉協議会児童福祉施設職員研修会「処遇困難な事例検討 ~グループディスカッション~」講演とスーパーバイズ、於：ルビノ京都堀川
2. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：宇治市児童福祉・教育関係者、宇治児童相談所 於：うじ安心館
3. 京都府家庭支援総合センター、引きこもり支援対応職員研修「ひきこもりについて ~システミックな視点から~」於：京都府家庭支援総合センター
4. 児童養護施設田島童園（大阪市生野区）職員スーパーバイズ、於：田島童園
5. 摂津市保育所所長・所長代理研修「愛着障害について ~よりよい保育実践のために~」、於：摂津市役所

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (10/10)

平成二十一
〜二十五
(2009〜2013)
年度の
社会にお
ける活
動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

- 平成26年 2月 6. 京都府家庭支援総合センター(南部研修)「女性相談における相談・面接の基礎」
対象：同センター及び市町村女性相談担当職員、於：京都府家庭支援総合センター
- 平成26年 3月 1. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：京田辺市児童福祉・教育関係者、
京都府宇治児童相談所南部支所、於：京田辺市立三山木小学校
2. 「処遇困難事例の検討」スーパーバイズ、対象：久御山町児童福祉・教育関係者、
京都府宇治児童相談所、於：久御山町役場
3. 亀岡市要保護児童対策地域協議会・実務担当者会議スーパーバイズ、於：亀岡市
役所

(その他)

- 平成21年11月 京都文教大学吉村夕里准教授担当授業(3回生ゼミ)講師、「児童相談所の概要」
於：京都文教大学
- 平成25年度 京都文教短期大学非常勤講師(「こころと臨床」(京都文教短期大学基礎科目 春・
秋2回)担当)
- 平成25年 5月 人間学研究所共同研究プロジェクト報告「児童福祉・子育て支援と地域連携」
於：京都文教大学
- 平成25年 9月 京都文教教養講座「子どもとこころ」第1回講師、「家族システムの中の子どもたち」
於：京都文教大学
- 平成25年12月 「子育て・家族支援について考える」宇治市高齢者アカデミー、於：京都文教大学
- 平成26年 1月 第1回こらぶれーしょんセミナー「子どもたちを豊かに育むまちの資源を集める」コ
ーディネータ、京都文教大学人間学研究所共同プロジェクト「地域人材育成のため
のプログラム構築と制度整備支援にむけた学際的研究」・社会福祉法人宇治福祉園・
2013年度京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科「連続講座」共同企画、於：
京都文教大学
- 平成26年 3月 第2回こらぶれーしょんセミナー「子どもたちを豊かに育むまちづくりへの協同」コ
ーディネータ、京都文教大学人間学研究所共同プロジェクト「地域人材育成のため
のプログラム構築と制度整備支援にむけた学際的研究」・社会福祉法人宇治福祉園・
2013年度京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科「連続講座」共同企画、於：
京都文教大学